



上のマークが目印

匠の技を全国へPR

「せつつすぐれもん」 摂津優品6製品を認定

摂津市は、約4千200の事業所が所在する「産業のまち」です。多くの職人が優れた製品を作っています。どんな事業所があり、どんなものが作られているのか、よく知られてはいません。そこで、市と市商工会は、市内中小企業の優れた製品を「摂津優品（せつつすぐれもん）」に認定し、市のブランドとして育てる制度をスタートしました。高い技術力で優れた製品を生み出す市内中小企業を応援し、産業のまち・摂津を全国へとPRしていきます。

市のブランド製品が誕生 ロゴマークが目印

今回スタートした「中小企業応援プロジェクト！摂津ブランド認定制度」は、市内の中小企業が作る優れた製品を「摂津優品」として認定するものです。高い技術力で作られたオリジナル製品を市内外に広くPRし、販路拡大につなげて中小企業を

応援する取り組みです。

7月3日から31日まで、市内中小企業が生産・製造・加工する製品を募集したところ、6社から6製品の応募がありました。

「摂津らしさ」「独自性」「安全性」「商品への熱意・こだわり」「将来性」などを基準に審査し、6製品全てを認定。9月7日、摂津市役所で森山一正市長から各事業者に認定証が授

操作性と剛性に優れた
玄人好みの釣り竿用グリップ



EYESPOT (アイスポット)
【株式会社ブライトリバー】

飛距離アップと驚異の耐久性を持つゴルフティー



Hawk Tee 85 (ホークティー)
【三島金型株式会社】



JADE Soleil (ジェイドソレイユ)
【株式会社ORB】

コンパクトでスタイリッシュな
オーデオアンプ

肉の塊を回転し焼ける
BBQグリル



スライドグリルスター☆「丸焼きくん」
【株式会社カネタ】

男性特有の悩みを
解消する石鹸



男十撫せっけん (オトナセッケン)
【株式会社大阪エース】

家庭で楽しめる
卓上型ミラーボール



Chibi 丸ちゃんミラーボール
【株式会社日照】

与されました。

認定された製品は、摂津ブランドの証である「摂津優品」のロゴマークを活用して、PRしていきます。

産業のまち

新製品開発を応援

摂津市は14・87平方キロメートルの狭い市域に、約4千200の事業所があります。市外から働きに来る人が多いことから、夜間よりも昼間の人口が約9千人多くなる、活気ある「産業のまち」です。

市内事業所の約96%は従業員50人未満の中小企業です。多くの中小企業が摂津の地で存続しているのは、確かな技術力を強みに、受注者の要



▲摂津優品の認定式

望に定める優れた製品が作られてきたからです。また、多種多様な事業所の技術の連携によって作られた製品もあり、小さなまちだからできる「ものづくり」が盛んに行われてきました。

認定制度は、摂津市の良さを生かし、市内事業所がこれまで培ってきた得意な技術を発展させて開発した優れた製品をPRしていくものです。産業の活力が市の発展と市民の暮らしを支える摂津市。事業所の新製品開発を応援し、商工業の振興を図ります。

「いいものをつくる」 摂津市を全国へPR

製品が認定された事業所は、「摂津優品」をPRするためのさまざまな支援が受けられます。各種商談会への出席補助（1年度10万円まで）や、プロモーションのための経営指導の専門家派遣、市や市商工会主催のイベントやホームページでのPRなどです。また、一企業では出展が難しい全国規模の展示会への共同出展も考えています。

認定製品を広く発信し販売促進することにより、製品とともに、「いいものを作っている摂津市」を多くの人に知ってもらえるよう、全国に向けてPRしていきます。

事業者インタビュー

第1回目として認定された「摂津優品（すぐれもん）」を開発した6つの事業者から、開発にける思いや、摂津市だからできたこと、認定制度に期待することを聞きました。



男十撫せっけん (オトナセッケン)

【石鹸】

男性特有の悩みに注目し、その効果効能を最優先に考えた自然派石鹸。

お悩みやニーズにあわせて最適な成分を厳選し、必要な素材だけを贅沢に高濃度配合していく黄金レシピが最大の特徴。

株式会社大阪エース

住所 摂津市鶴野 2-9-19-101

☎ 072-636-8201

事業 化粧品、ウレタン樹脂を使った住宅装備材の製造・販売

創業 昭和53年

従業員 8人

URL <http://www.osakaace.com>



営業企画統括
ディレクター
橋高昭晴さん

お客様の声から

「認定製品開発のきっかけは私の会社は、石鹸を中心とした化粧品とウレタン樹脂を使った製品の製造・販売を行っています。化粧品を開発したきっかけは、オーナーが、肌の弱い娘に、何かいい化粧品をと思い作ったことです。これが評判となり、本格的な業務に移行しました。今回認定を受けた男性向けの石鹸開発は、ウレタン事業者との付き合いの中で、仕事で付着する匂いや油汚れの悩みを解消するような石鹸を要望されたことや、化粧品を利用する女性の利用者から、「夫に何かいい石鹸を」と言われたことがきっかけでした。何度も成分の配合を行い、男性特有の悩みに対し

て効果のある製品を追求しました。

コンパクトと利便性

「摂津市だからできたことは仕事で遠方の人と付き合いを持つことが多いですが、摂津市は、交通の便がよく、どこからでも来やすい場所にあるので助かります。また、コンパクトなまちなので、事業者ともすぐに顔を合わせて話をする事ができます。事業者には、こだわりを持った職人が多く、それだけに良い物を生み出しやすい環境にあると思います。

摂津市ならではの

「摂津優品認定制度に期待することは

認定製品の存在を全国的に発信していったほしいと思います。この制度を続けていくことで、新製品の登録が増え、「摂津市ならではの」と言われる製品が誕生するのを期待します。また、制度を通じて、いろんな事業者とつながり、製品開発のコラボができるとうれしいです。



Hawk Tee 85 (ホークティー)

【ゴルフティー】

全国のドライビングコンテストでも使用されるゴルフティー。特徴は、飛距離アップの特殊設計とプロのヘッドスピードでも折れない驚異の耐久性。長年のプラスチック成型の技術が生かされた製品。

三島金型株式会社

住所 摂津市別府 1-14-17

☎ 06-6349-8904

事業 樹脂成形加工、リチウム電池絶縁ガasket製造など

創業 昭和38年

従業員 33人

URL <http://www.mishimakanagata.co.jp>



代表取締役
佐竹禎行さん

得意な技術で新開発

「認定製品開発のきっかけはゴルフティーの開発は、近くのゴルフセンターと、記念品のティーを作成することがきっかけでした。その後、ティーの一つがドライビングコンテストのプロの手に渡り好評価を得たことで、今回認定を受けた製品の開発に至りました。ドライビングコンテスト

で使用しているティーは、プロの強いヘッドスピードにより、折れることがよくあります。そこで耐久性にこだわった新製品を作ろうと思いました。私の会社の中心業務はプラスチック製品の製造です。細かな材料の調合を得意としており、その技術を生かして非常に耐久性に優れたゴルフティーを作り出しました。

材料も加工も全て市内

「摂津市だからできたことはゴルフティーに限らず、会社の製品は、原材料の調達から部分加工に至るまで全て市内の業者と連携して行っています。さまざまな企業がたくさんある摂津市

「認定製品を今後どのように育てて成功事例を作っていくかが大事です。その事例を他の企業に伝えていくことで、新たな「摂津優品」も生まれてくると思います。他者の優れた製品を知ることはい刺激となり、新しいアイデアを生み出すきっかけになります。制度を通して企業間のつながりが深まることを期待します。



EYESPOT (アイスポット) 【釣竿用グリップ】

トップウォーターフィッシング（水面でのルアーを浮かしての釣り）に特化した操作性や剛性に優れた釣竿用グリップ。

一品一品を手作りで生産しており、クラシック感を全面に出したデザイン。グリップの木製部分は、利用者の好みに合わせて選択可能。

株式会社ブライトリバー

住所 摂津市西一津屋 2-12

☎ 06-6829-0252

事業 釣具（竿・ルアーなど各種小物類）の製造販売

創業 平成20年

従業員 3人

URL <http://brightliver.com>



代表取締役
松本一良さん

釣具の心臓はグリップ

「認定製品開発のきっかけは釣竿用グリップの開発は、創業してすぐに始めました。釣具にこだわりを持つ人は、まずグリップにこだわります。昔のものはビンテージ製品でかっこいいものですが、見た目の良さだけではなく、品質のいいものを作りたいと思ったのがきっかけです。グリップ先端部の竿を取

り付ける部分は、若干の砂が入っても壊れないように、設計はミリ単位で調整しています。利用者の好みに合わせて一品一品作りするので、大量生産はできませんが、それだけに品質の良さには絶対の自信があります。

川が多い利点 銘木の木

「摂津市だからできたことはルアーづくりには、機能を確認するテストが不可欠です。会社の前には神崎川、淀川があり、町中には水路がたくさんあります。さまざまな状況に応じたテストを行うには非常に適した土地柄です。グリップの木の部分には鳥飼銘木町の木を使用した

ものもあり、摂津市の良質な木材を近くで入手できるのも大きな利点です。

働くきっかけづくり

「認定をきっかけに、釣りのことを知らない人たちにも、作った製品を知ってもらい、実際に触れて興味を持ってもらえたらうれしく思います。市内にはこだわりの事業所がたくさんあります。この認定制度が、「こんな製品を作っている摂津市で働きたい」と思うきっかけづくりになることを期待しています。



Chibi 丸ちゃん ミラーボール

【卓上型ミラーボール】

一般消費者向けに開発製造されたミラーボール。個人宅のカラオケルームや小規模スペースで活用可能。

ミラーボール国内製造 95%のシェアを誇る確かな技術力により工芸美術品のように美しい姿を実現。

株式会社日照

住所 摂津市鶴野 3-8-7
☎ 072-634-1231
事業 ミラーボール、演出照明器具の製造・販売
創業 昭和 24 年
従業員 19 人
URL <http://www.nissho-osk.jp>



代表取締役 山中稔喜さん

使いやすいミラーボール開発に取りかかりました。つり下げ型を卓上型に変えると、ボールを回転させるモーターにかかる重さが逆転します。モーターの強化と必要な部品を小さく収納することに力を入れました。

新たなつながりを

― 摂津優品認定制度に期待することは

ミラーボールは特殊照明器具ですので、市場は限られています。そのため個人客への販路開拓には慣れていません。個人客へのつながりを作る手助けを認定制度に期待します。また、市内にどんな会社があるのかを私たちも知ることができず。さまざまな技術力にふれ、互いに向上し合う関係性を築いていきたいです。

顔を見て話せる環境

― 摂津市だからできたことは

私の会社はミラーボールの他に各種照明器具を製造していますが、近い所で協力業者が見つかりました。近いことは本当に利点が多く、不具合があってもすぐに持っていくことができ、製品の引き取りや製作の間も短縮できます。同業種の人同士であれば仕事もし

置いて使えるものを

― 認定製品開発のきっかけは

通常のミラーボールは、天井につり下げて固定して使うものです。卓上型ミラーボールの開発は、「置いて使えたら」というお客様の声があったからです。

創業当初からミラーボールを製造していた会社です

ので、ノウハウはそのままに、置いて移動もできる扱



スライドグリルスター☆ 「丸焼きくん」

【BBQ グリル】

大きな肉の塊を回転させながら焼くことができるバーベキューグリル。「お肉の丸焼きというダイナミックさ」がコンセプト。肉を串刺し、火にかけ、肉の塊を焼き、大人数で舌鼓を打つ、というアウトドアの醍醐味を満喫できる。オールステンレス製で耐久性と高級感も抜群。

株式会社カネタ

住所 摂津市烏飼中 2-3-11
☎ 072-654-1637
事業 製造・金属加工
創業 昭和 46 年
従業員 30 人
URL <http://www.kaneta-tekkou.co.jp>



代表取締役 佐多はつみさん

肉を串刺し、手で回しながら肉全体を焼いていくのですが、焼きたいところで回転を止める技術には苦労しました。完成した製品も、お客様の要望に応え、何度も改良を重ね今回の認定製品にたどり着きました。お客様の要望に素早く応えられるのは町工場の強みです。

身近にいる優れた職人

― 摂津市だからできたことは

基本的な金属加工は自社で行っていますが、特殊な技術が必要とする鉄板成形や精密な剪断などの機械加工は市内の事業所をお願いしています。難しい注文の依頼でも、わざわざ他市で事業所を探しお願いする必

要はありません。すぐ身近に、腕のいい職人がたくさんいるのが摂津市です。

職人のまちをPR

― 摂津優品認定制度に期待することは

自社の会社のPRはインターネットなどですぐできますが、摂津市がものづくりに優れた地域で、高い技術を持つ職人がたくさんいることは自分たちでなかなかPRできません。摂津市に図面さえ持ってきてもらえたら、それを形にできる工場がたくさんあることを、外に向かって伝えてほしいと思います。それで摂津市の知名度が上がってくれればいいです。



JADE Soleil (ジェイド ソレイユ) 【オーディオアンプ】

古き良き時代の真空管と現代技術を駆使したコンパクトでスタイリッシュなオーディオアンプ。場所を選ばず設置でき、真空管の柔らかい自然な響きと、パワフルなデジタルアンプの融合により、良質なサウンドを実現。

アンプとは？

音楽を聴くことができるように音を増幅する装置。音楽機器には全てアンプが入っています。

株式会社 ORB

住所 摂津市南別府町 6-1
☎ 06-6349-1858
事業 音響機器の製造販売
創業 昭和 52 年
従業員 20 人
URL <http://www.orb.co.jp>



代表取締役 竹内啓敏さん

販路開拓への挑戦

― 認定製品開発のきっかけは

機器を製造していました。しかし、ニーズは限られた音楽愛好家を中心で、販売促進の難しさを感じていました。そこで、幅広い層の人に楽しんでもらえるようなアンプを開発しようと考えました。こだわったのはデザインと音質です。通常、音質の良いアンプは、大型で形状もシンプルなものが多く、デザインに特化した物は音質がやや十分ではない傾向があるよ

うに思います。そこで、これまで音響機器の分野で培ってきた技術を生かしてデザインと音質を兼ね備えた製品を作り出しました。

ものづくりに適した地

― 摂津市だからできたことは

製品は、製造だけではなく、設計開発も含め、全て自社で行っています。それは工場を持つている強みです。大都市圏では、なかなか自前の工場を持つことは難しいと思います。摂津市は、大都市圏に近接しているながら、工場を持ちやすい、ものづくり

新製品の開発へ

― 摂津優品認定制度に期待することは

市内には、ものづくりに優れた事業所がたくさんありますが、私の会社と同じように、中小企業が多く、新製品を自力で生み出し、販売することは大変なことだと思えます。この制度が、新しい製品を開発することへの助けとなり、道しるべになることを期待しています。